

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1. 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価
住 所	兵庫県尼崎市道意町7-1-3
評価実施期間	2010年4月28日 ～ 9月13日 実地訪問調査日 2010年8月13日（金）
評価調査者	HF05-1-0098 吉山 浩 （リーダー） HF06-1-0019 山田 奈津美 （メンバー） HF05-1-0100 池上 裕子 （報告書査読）

※ 契約日から
評価結果確定日

2. 福祉サービス事業者 概要

事業所名称： くるみ保育園	種 別： 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名： 松尾 裕子 園長	開設年： 平成21年5月1日
経営主体： 社会福祉法人 桜谷福祉会	定 員： 40名
所在地： 〒661-0022 兵庫県尼崎市尾浜町1丁目33-2	
電話番号： 06-6427-9794	F A X 番号： 06-6429-2301
E-mail： kurumikidsamagasaki@mx4.alpha-web.ne.jp	U R L： http://www.sakuradanifukushikai.com/

3. 理念・方針等

保育理念

個性を大切にし、個人個人の発達段階に応じた適切な指導を行い、安全で快適な保育環境のもと、子どもたち一人一人が生き生きと健やかに育ち、保護者の方が安心して預けられる施設を目指します。

保育方針

「元気な子ども」「遊べる子ども」

- *健康な生活に、必要な習慣を身につける。
- *食べることに興味をもち、楽しく食べる。
- *植物の栽培を通して、生命の大切さに気づく。
- *保育士や友だちの話をよく聞き、自分の言葉で話す。

4. 特に力を入れて取り組んでいる点

おおむね2歳になると、言葉の理解、物への興味・大人への関心が深まってくることから当園では、2歳児クラスに様々な経験できる行事を取り入れました。

- | | | |
|---|--------------------------|--|
| 1 | ネイティブの講師による「英語保育」 | 動物・食べ物・色などを使った数遊びやゲームをしたり、歌を歌ったり、ダンスをしています。 |
| 2 | 社会見学・遠足 | 子どもの興味を示す「乗り物」を身近で観たり、乗る経験として、市バスに乗って「消防署見学」に行きます。秋には、保育園で作ったお弁当を持って大きな飛行機を観に「伊丹のスカイパーク」に行きます。 |
| 3 | 園外保育 | アレルギーの子どももみんなと同じお弁当を！との思いから、当園で作ったお弁当を持って近隣の公園に遠足に行きます。（花見・お別れ遠足） |
| 4 | クッキング | 「とうもろこしの皮むき」「おばけスイカ作り」「カキ氷」「おにぎり・団子作り」「クリスマスケーキのトッピング」 |
| 5 | グリーンガーデン（栽培） | 子どもたちが苗植え・水遣り・収穫！採った野菜を包丁を使って切り、給食に入れて調理してもらって食べています。（なすび・トマト・きゅうり・ピーマン・さつまいも） |



5. 園児の状況に関する事項 (平成 22 年 8 月 1 日現在)

6ヶ月未満	6ヶ月～1歳3ヶ月未満	1歳3ヶ月～2歳未満	2歳児	合計
1名	8名	11名	26名	46名

6. 職員の状況に関する事項 (平成 22 年 8 月 1 日現在)

	総数	園長	主任	副主任
常勤	13名	1名	1名	1名
非常勤	4名	0名	0名	0名
	保育士	栄養士	調理員等	
常勤	9名	1名	0名	
非常勤	3名	0名	1名	

7. ボランティアの受け入れ

- 平成 21 年度 ボランティアの受け入れ人数 2 人 (内容 保育園の環境整備・草笛コンサート)

8. 実習生の受け入れ

- 平成 21 年度における実習生の受け入れ人数 保育士 2 人 (内訳 大学生 2人)
- 平成 22 年度における実習生の受け入れ予定人数 保育士 2 人

9. サービス利用者からの意見等の聴取について

送迎時のコミュニケーションを日頃から大切に、常にご意見を申し出やすい環境作りに気をつけています。

しかし、中には直接いえない方もいらっしゃるの、玄関に意見箱を設置し、又、保護者参加の行事の後に取らせて頂いている「アンケート」の中に「ご意見コーナー」を取り入れています。

昨年 12 月、及び 今年 7 月に、保護者の方々に「園に対する満足度や要望・意見アンケート」を取らせて頂きました。その後、意見のあった内容に関し、改善策を考えて保護者の方にお伝えしています。

○ 総評 あっ と ほ ー む

☆☆☆ 特に評価の高い点 ☆☆☆

- 1) 顧客満足度が極めて高い点
- 2) それを可能にする 家族的保育サービスの提供プロセス
- 3) 園長、主任保育士を筆頭にスタッフ一同のひたむきな努力、熱心さ

今後も続けていただきたい点

法人のモットーである「不足の中から工夫が生まれる」を、これからも大事にされ、
『 ① 努力 ② 知恵 ③ 工夫 は 無限 』を実践される事を望みます。

さらに力を注いでいただきたい点

一時保育の年間目標人数を360人（毎月30人）と設定されているので、毎月その目標
人数に達したのか否か、全てのスタッフが一目で分かるグラフ等の作成

第三者評価結果に対する事業者のコメント

本園は、平成 20 年度 5 月より桜谷福祉会となり、保育園としての新たな見直しを図りました。

そんな中、(株)第三者評価と共に評価基準を深く読み込み、様々な点での強化を図れ、更なる見直しをすることが出来ました。子ども達が「毎日が楽しい」「保育園に行きたい」と素直に感じ、又、保護者の方々が安心してお子様を預けて頂ける保育園作りを目指しています。そのために、いろいろな経験を大切に、まずは計画から実行へ！と取り組んでいます。今回、生まれ変わった「くるみ保育園」を一番感じて下さり、更なる発展の為、お力を注いで下さったことに感謝し、今後も「あつとほーむ」をモットーに前進していきたいと思ひます。

- 各評価項目に係る第三者評価結果 (別紙 1)
- 各評価項目に係る評価結果グラフ (別紙 2)

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針を確立している。	
I-1-(1)-① 理念を明文化している。	a
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針を明文化している。	a
I-1-(2) 理念や基本方針を周知している。	
I-1-(2)-① 理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している	a

特記事項

理念および基本方針は入園パンフレットに記載し、毎年度初めに保護者および職員にパンフレットを用いてわかりやすく説明しています。またそれだけでなく園入口やホームページでも明文化し、目に触れる機会を複数提供しています。

Ⅰ-2 計画の策定

	第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。	
I-2-(1)-① 中・長期計画を策定している。	a
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a
I-2-(2) 計画を適切に策定している。	
I-2-(2)-① 計画の策定を組織的に行っている。	a
I-2-(2)-② 計画を職員や利用者に周知している。	a

特記事項

中・長期計画は法人本部の経営策定委員会に主任が委員として参加し、各施設の事業計画と連動させた内容の計画を策定しています。計画の内容は3カ年計画と長期計画にわかれており、計画の内容は年に4回、定期に時期を決めて見直すことが決められています。これにより短期の計画の流動性にも柔軟に対応できるようになっています。

またこのことが職員に文書で周知されており、日ごろから園長以下、主任、副主任が中心となって計画策定にあたっているため、日常のサービスに直結した計画が策定されています。内容については保育園だよりや園内掲示、個別のお便り等で周知しています。

「桜谷福祉会組織図」、「役員名簿」、「平成21年度事業報告書」、「平成22年度事業計画書」を確認した。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任を明確にしている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

特記事項

事業計画の中で管理者である園長の職務を明文化し、職員に説明しています。職員に対して年2回の個人面談を実施、保護者に対しては全体アンケートや行事ごとのアンケートを実施し、積極的にサービスの改善提案や改善にかかる取り組みを実施しています。また各種様式に、聞き取りの結果をフィードバックし改善しやすいものにするような工夫のあとが見られます。

「くるみ保育園組織図」、「職員業務分担表」、「遵守すべき法令一覧」、「研修記録」等を確認した。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－1 経営状況の把握

	第三者評価結果
Ⅱ－1－(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅱ－1－(1)－① 事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a
Ⅱ－1－(1)－② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っ	a
Ⅱ－1－(1)－③ 外部監査等を実施している。	a

特記事項

<p>尼崎市保育課との連携、法人園長会等での保育関連の情報交換だけでなく、くるみ保育園独自に開催している子育て支援の場である「すくすく子育て広場」を活用して、利用者からの意見や地域自治会の意見を取り入れる仕組みを作っており、様々な形でニーズ把握に取り組んでいます。</p> <p>経営分析については法人本部と協力しSWOT分析〔強み (Strengths)、弱み (Weaknesses)、機会 (Opportunities)、脅威 (Threats)] を園で実施し、課題発見に取り組んでいます。園内でテーマごとに委員会（保育所運営、サービス評価、安全、食育等 11の委員会）を組織し、職員自ら課題を把握し、具体的な問題解決に活発に取り組んでいます。</p>
--

Ⅱ－2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
Ⅱ－2－(1) 人事管理の体制を整備している。	
Ⅱ－2－(1)－① 必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a
Ⅱ－2－(1)－② 人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a
Ⅱ－2－(2) 職員の就業状況に配慮している。	
Ⅱ－2－(2)－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a
Ⅱ－2－(2)－② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ－2－(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。	
Ⅱ－2－(3)－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a
Ⅱ－2－(3)－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	a
Ⅱ－2－(3)－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ－2－(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。	
Ⅱ－2－(4)－① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
Ⅱ－2－(4)－② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a

施設内研修	すくすく子育て広場	実習生
		

特記事項

園では園長が職員ひとりひとりの経験や個性を把握したうえでスキルを評価し、最高のチームワークが発揮できるよう、配置や年齢構成に配慮して人員を配置しています。さらに年に2回、園長・主任と職員との懇談会を実施し、職員のさまざまな声や日常業務に必要な改善点を提起し、その解決に取り組んでいます。また、今年度中に法人全体で人事考課制度とキャリアパス制度の導入を計画しています。

実習生の受け入れについては業務の流れをワークシートに落とし込んで説明していて、初めての实習生でも自分の一日の仕事が理解しやすく、また何をすべきかを自分で考えられるよい資料で、職員の実習に対する取り組み姿勢がよく理解できます。また受け入れにあたっては実習生の取り組み目標を事前に把握し、それぞれの実習内容に反映するよう生かしています。

☆ 実習生の受け入れ人数 平成 21 年度実績 2 人 平成 22 年度予定 2 人

Ⅱ－3 安全管理

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
Ⅱ-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a
Ⅱ-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

特記事項

緊急時の連絡はフローチャートにして分かりやすく、また目につくところに掲示し、いつでも活用できるように工夫がされています。安全確保の方策については安全委員会が中心になって毎月園内で起こった事故や園児のけが、危険箇所などを洗い出し、解決方法、その結果、効果等を検証し、リスクの軽減にデータを活用しながら取り組んでいます。データを活用した検証、また再アセスメント、再度の課題設定は福祉の分野ではまだ十分とはいえませんが、その中で、自分たちでデータを集め検証する積極的な姿勢はくるみ保育園でのサービスの質の高さを表しています。

II-4 地域との交流と連携

	第三者評価結
II-4-(1) 地域との関係を適切に確保している。	
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携を確保している。	
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-② 関係機関等との連携を適切に行っている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a

近隣の医療マップ	お散歩マップ	草笛コンサート (ボランティア)
		

特記事項

法人全体で「地域との交流と連携」は各事業所の重要な取り組みに位置づけ、力を入れています。くるみ保育園では子育て支援として「すくすく子育て広場」を月2回、子育て相談を週1回実施しており、参加者に好評で徐々に利用数が増加しています。地域の小中学校とはトライやるウィークや物品の貸し借り、また自治会とも地域会館の利用を接点として交流を継続する取り組みや努力をしています。来年度は夏祭りへの参加も計画されています。またボランティアの受け入れにも積極的で、そのためのマニュアル等の整備もされています。

地域の福祉ニーズの把握に関して市から提供されるデータだけでなく、すくすく子育て広場参加者のデータ等を活用し、独自でもニーズ把握に努めています。

また、園内で掲示されている『近隣の病院マップ』は、保護者の評価が極めて高いものとなっています。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用者の意向の把握と満足の上昇への活用に取り組んでいる。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

特記事項

理念と基本方針に基づいて事業計画以下、月案等が作製されていることが諸表から確認できます。

計画の内容は園児の状態に応じて随時変更ができるようになっています。

園児のプライバシー保護に関しては法人全体で研修等を実施するとともに、施設のハード面での改善も実施されています。具体例としては3階のプールは外部から見えないような配慮がなされており、トイレにも工夫が実施されています。

利用者の満足向上やそのための利用者の意見や相談ごとの聞き取りについては、アンケートの実施、行事ごとのアンケート実施、毎日の送り迎えの時に積極的に保護者等に声かけ、意見箱の設置の方法で対応しています。いただいた意見はその日のうちに園長が集約し、その日のうちに迅速に対応しています。予算に係る要望、対応に時間がかかる要望については、その内容を説明し、期限を明示して対応しています。それに準じて苦情に対しても迅速に対応しています。特に安全面に関する取り組みには積極的です。マニュアルも年に2回、定期的に法人本部で見直しをしており、外部の変化に十分対応する体制となっています。

「苦情解決フローチャート」、「苦情解決報告書（受付21年12月18日）」、「苦情受付第三者委員（複数の相談先）」『苦情箱』の設置等を確認しました。

2010年7月実施の保護者アンケート結果は、極めて高い顧客満足度を示しました。（下記参照）



尼崎くるみ保育園

アンケート結果 1

2010年7月 園児 47人 総家庭数 45家族 回収 41件 回収率 91%

No.	質 問	保護者さまの回答			
		1 はい	2 どちらとも いえない	3 いいえ	4 未記入
【保育園の状況】					
1	園は落ち着いて過ごせる雰囲気ですか	40	1	0	0
2	職員が生き生きと、子どもに笑顔で接していますか	40	1	0	0
3	職員は、保護者や近所の方などと積極的にあいさつをしていますか	38	2	0	1
4	子どもの事故防止や保育環境を整備するための施設の改善・補修が適切に行われていると思いますか	34	6	0	1
【子どもの様子】					
5	保育園で、お子さんは楽しく生活していると思いますか	41	0	0	0
6	お子さんは担任保育士など職員を信頼し、保育園になじんでいますか	40	1	0	0
7	お子さんが、生活発表会や運動会などの各種行事(練習過程を含む)に、楽しんで参加していますか	31	4	0	6
【相談】					
8	お子さんに関する悩みや不安などについて、担任保育士や園長に気軽に相談できる雰囲気・態度がありますか	40	1	0	0
9	お子さんや家庭のことについて相談した内容が、第三者に漏れることがないよう守られていると思いますか	34	4	0	3 (分からない)
【情報の提供】					
10	保育園に入所する際に、保育の内容や方法などについて説明がありましたか	40	1	0	0
11	お子さんの保育園での状態・様子について、園との間で連絡や情報交換が行われていますか	41	0	0	0
12	「園だより」や「掲示板」などのお知らせは、あなたに分かりやすく伝えようとする工夫が感じられますか	39	1	0	1
13	献立表やサンプル展示などで、毎日の給食やおやつの内容がわかるようになっていますか	37	2	0	2
14	給食のメニューは充実していますか	38	2	0	1
15	感染症(インフルエンザやはしかなど)や食中毒の発生状況や予防対策などについてお知らせがありますか	36	3	0	2
16	子育てに関して、他の機関や団体が行っている事業や行事などについてお知らせがありますか	30	8	0	3
【保育サービス】					
17	散歩等で戸外にでる機会が多いですか	40	0	0	1
18	お子さんの発育や意欲を促すような活動・遊び等が行なわれていますか	39	0	0	2
19	お迎え時に、園でのお子さんの様子等について、園から気軽に話を聞くことができますか	40	1	0	0
20	開園時間内であれば、保護者の急な残業や不定期な業務への対応は柔軟に行われていますか(降園時間など)	40	0	0	1
21	保育中の発熱など病気への対応は適切ですか	38	1	0	2
22	保育園で起きた事故・けがに対して、園は責任を持って対応していますか	30	3	1	7
【保育参加】					
23	保育体験や子育て勉強会など、保護者が保育に参加する機会がありますか	27	10	0	4
24	地域のまつりや行事への参加、ボランティア活動などを通して、保育園が地域交流に心がけていると思いますか(あなたやお子さんの参加の有無は問いません)	24	12	0	5
25	行事日程に、保護者が参加しやすいような配慮を感じますか	34	4	0	3
【要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします】					
26	お子さんや保護者の不満やトラブルへの職員の対応は的確ですか	35	4	0	2
27	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか	35	4	0	2

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	a
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

特記事項

毎月職員内でサービス評価委員会が中心となってサービスの見直しを実施しています。この委員会がサービス実践の中心となって評価の内容を迅速に普段の業務に反映させています。法人の方針として各委員会を活用して全職員が運営に参加することで、より職員が責任と自覚を持ってサービス向上に取り組む体制になっています。

業務の実施に関してはワークシートを作成し、業務の漏れ、ばらつきが発生しないように工夫されています。また業務実施についてはチェック表を作成し、さらに漏れないようにチェックをかけています。

この内容は毎月見直しをしており、日々サービスの向上に取り組んでいることが分かります。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

特記事項

「入園案内パンフレット」、「入園面接資料（3/3付け Sさん同意サイン入り）、（3/12付け Fさん同意サイン入り）」、等を確認し、保育サービスの提供プロセスの開始時が適正になされている事を確認した。

また、サービスの継続性に配慮している事も確認しました。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントを行っている。	
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。	
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

特記事項

「児童保育台帳」、「4～7月 個別計画表 パンダ組（0歳）（H. Sさん）（A. S君）」、「週間指導計画（7月第4週（7/24～31）、第5週（7/26～31））」等を確認し、子ども個々のアセスメントを把握、明示し計画の策定・見直しを実施している事を確認し、PDCAサイクルが回っていることを確認できました。

また、サービス評価委員会活動が「委員会計画表」に基づき実践され「スタッフ会議議事録」、

「会議録」等により活発に実施されいている事を確認できました。

評価対象Ⅳ 実施する福祉サービスの内容

Ⅳ-1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 発達援助の基本	
Ⅳ-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a
Ⅳ-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
Ⅳ-1-(2) 健康管理・食事	
Ⅳ-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
Ⅳ-1-(2)-② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
Ⅳ-1-(2)-③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a
Ⅳ-1-(2)-④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
Ⅳ-1-(3) 保育環境	
Ⅳ-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4) 保育内容	
Ⅳ-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
Ⅳ-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
Ⅳ-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑨ 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
Ⅳ-1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑪ チャレンジド保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

特記事項

「献立表」、「嗜好調査（食育委員会）」、「離乳食確認表」、「食事調整シート」、「食材チェック確認表」等を確認し、食育計画に沿った『だんご』、『とうもろこしの皮むき』、『クリスマスケーキ』のクッキング活動、『きゅうり』、『なす』、『トマト』、『ピーマン』、『さつまいも』の栽培活動、園だよりに掲載しているヒットメニュー（6月号 三色丼）、そのレシピが好評であることを保護者アンケート調査からも確認できました。

アレルギー疾患をもつ子どもに対しては、「アレルギー食実施報告書」、「アレルギー食事変更届け」、「与薬依頼票」、「配膳記録」、「研修記録」、調理室、配膳事のダブル・チェック体制、保護者への確認記録等で万全の体制であることを確認いたしました。

わらべ歌遊び、読み聞かせ(紙芝居)、本の貸し出し、2歳児対象の毎週水曜日のネイティブ・スピーカー MRS. Sによる英語保育は、子どもに人気があり、園内に掲示されている『一人ひとりの子どものスナップ写真』『お散歩マップ』は、保護者の評価が極めて高いものとなっています。

「ものを大切に作る心」、「3R（リサイクル・リユース・リデュース）」「MOTTAINAI」精神が根付いており、保護者からペットボトルのキャップ、牛乳パック、ラン・チャーム(醤油が入っていない・たれびん)を回収し、ECOCAP（世界の子どもにワクチンを届ける活動）に参加したり、手づくりで世界に一つのカードを作成したり、おもちゃの金魚すくいに活用するなど、家庭で出来そうで出来ない事を行い、保護者を巻き込んだ環境保護教育、昔ながらの遊びを取り入れた保育を実践しています。

現在は、チャレンジドは、在籍していませんが、受け入れ態勢は出来ていることを確認しました。

エコキャップ活動	ヒットメニュー（給食だより）	金魚すくい（リサイクル）
		

IV-2 子育て支援

	第三者評価結果
IV-2-(1) 入所児童の保護者等への育児支援	
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している	a
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
IV-2-(1)-⑥ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

特記事項

「懇談会資料」、「保育経過記録」、「虐待防止マニュアル」、「施設内虐待防止研修報告書」、「一時保育の記録」等を確認しました。

一時保育の利用者増は、次年度以降の園児獲得にもつながることから、設定している目標人数に到達しつつあるのか否かが園内スタッフで共有できるよう、一目で分かるグラフ化するなど、知恵をさらに出す事を期待します。

(4月 44人、 5月 20人、 6月 19人、 7月 20人、 4～7月 103人)

年間目標 360人 毎月目標 30人 達成率 28% 4カ月間累計未達人数 17人)

親子ふれあい広場	毎月の園児の作品展	プライバシーの保護
		

IV-3 安全・事故防止

	第三者評価結果
IV-3-(1) 安全・事故防止	
IV-3-(1)-① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a
IV-3-(1)-② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a
IV-3-(1)-③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
IV-3-(1)-④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a
IV-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a

特記事項

「調理室の掃除点検表」、「衛生害虫防除証明書（22年1月～23年1月）B社」、「衛生管理マニュアル」、「毎日の管理表」「研修報告書6/4実施（食中毒について）」及び「オゾン発生装置、ジアノック（食品添加物殺菌料-次亜塩素酸ナトリウム5%）等を確認し、衛生管理対策が万全であることを確認しました。

また、「火元取締責任者組織図」、「自衛消防隊編成表」、「事故防止マニュアル」、「防災、防犯、防火マニュアル」、「安全チェックリスト」、「事故発生記録」及び「避難訓練実施記録」により毎月、課題を設定し訓練が実施されている事、及び、水消火器による実践的な放水消火活動を確認しました。

『安全宣言』、『安全の図』も園内入り口に掲示し、保護者に分かりやすく図で示す等、必見の価値があります。

安全宣言	安全の図	防犯・防火訓練